

# 記入例 1 (微生物使用実験)

別紙様式 2 (第 1 2 条関係)

## 組換えDNA実験 (第二種使用等) 計画書

平成 年 月 日

課題名 (第二種使用等の名称) (注1)		例) 翻訳開始に関わる因子 SMAP の構造解析に関する研究 (簡略に書いて下さい)		
実施予定期間 (注2)		年 月 日から 年 月 日まで 例) 実験開始予定日から (5年を限度として) 終了予定日まで		
実施場所 (注3)	名称	例) 鳥取大学〇〇学部〇〇研究棟〇階〇〇実験室 (P2) のように具体的に書いて下さい。		
	所在地	〒 ( )		
		TEL		
実験責任者 (注4)	所属学部等 (所属講座・分野等) の名称及び職名			
	氏名			
	住所	〒 ( )		
		TEL		
		FAX		
E-mail				
実験従事者	氏名	所属学部等・職名	宿主及びその取扱経験年数 (注5)	組換えDNA実験経験年数 (注6)
	実験責任者 例) 米子太郎	例) 医学部・准教授	例) 大腸菌5年 ウイルス7年のように用いる宿主全てについて経験年数とあわせて記入して下さい	例) 4年
	例) 三本松花子 内町次郎	大学院・医学系研究科・修士2年 大学院・医学系研究科・修士1年	同上	例) 3年 例) 2年
安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由				
承認番号		安全委員長 所属部局・職名・氏名	印	

目的及び概要	種類（注7）	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 微生物使用実験</li> <li>2. 大量培養実験</li> <li>3. 動物使用実験 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 動物作成実験</li> <li>(2) 動物接種実験</li> </ol> </li> <li>4. 植物等使用実験 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 植物作成実験</li> <li>(2) 植物接種実験</li> <li>(3) きのこと作成実験</li> </ol> </li> <li>5. 細胞融合実験（分類学上の科を超える細胞融合）</li> </ol>
	目的	翻訳開始に関わる因子 SMAP の構造を解析する。さらに関連タンパク質との結合様式を明らかにする。
	概要（注8）	ラット SMAP を大腸菌で発現させ、NMR 測定により 3 次元立体構造を解析する。さらに関連タンパク質との結合様式を解析する。 審査委員の理解を助けるために実験の流れを flow chart 図として添付していただくと、審査が簡単にすみます。
遺伝子組換え生物等の特性	核酸供与体の特性（注9）	核酸供与体とは下の欄の供与核酸が由来する生物（ヒトを含む）をいう。この実験ではラットで、クラス 1 に相当します。実験に使用する供与核酸がどのクラスに属するかを調べる方法はインターネットで以下のようにたどって下さい。鳥取大学ホームページ-附属施設等-生命機能支援センター—（上の欄の）遺伝子探索分野-（左欄の）組換え DNA 実験-拡散防止措置の区分の早見表（以下 早見表とします）を開いて下さい。表の上の列が拡散供与体を表しています。例えば動物、植物はともにクラス 1 であることが分かります。
	供与核酸の特性（注10）	供与核酸の定義ですが、組換え核酸のうちベクター以外のものです。この実験の例では 1) ラット SMAP で cDNA クローニングされたもの。2) 次に SMAP とは何か？を審査委員が理解できるように具体的に説明して下さい。文章で説明が難しい場合は図を添付し、理解の助けにして下さい。SMAP cDNA の長さは？（xx bp）発現させる SMAP 遺伝子の cDNA の位置、amino acid の peptide 数と予想されるタンパク質の大きさ kDa。この遺伝子を記載している論文名、筆者名、号、頁、雑誌名。または遺伝子の accession number が既知の場合はそれを記載して下さい。あれば両方を記載してください。
	ベクター等の特性（注11）	使用する vector について記載して下さい。Plasmid や phage vector の説明を記載して下さい。具体的に promoter 名、regulatory gene 名（略号でかまいません）、購入した場合は会社名を書いて下さい。また plasmid の図、cloning の図を添付して下さい。
	宿主等の特性（注12）	宿主の定義ですが、組換え核酸が移入される生物をいいます。この実験の場合は E.coli の BL21 株を使用します。これは E.coli K12 株由来です。
	遺伝子組換え生物等の特性（宿主等との相違を含む。）（注13）	大腸菌は SMAP を発現するようになる。SMAP は人に対する毒性は認められない。 Plasmid を E.coli で増やす場合、宿主である E.coli は薬剤耐性を獲得するので、遺伝子組換え生物等の特性は Amp <sup>r</sup> や kan <sup>r</sup> などに变化したと書いて下さい。

遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性 (注 14)	この実験計画では、該当しませんので空欄のままで結構です。						
拡散防止措置	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="344 398 560 577">           区分及び選択理由            (注 15)         </td> <td data-bbox="560 398 1457 577"> <b>早見表</b>をみますと、宿主とベクターの組み合わせが <b>B1 認定宿主ベクター系</b>であり、核酸供与体がクラス1ですのでその他—<b>P1 実験</b>であることが分かります。認定宿主ベクター系かどうかの調べ方はインターネットで先ほどと同じ「生命機能研究支援センター」の<b>宿主及びベクターの組み合わせ (表)</b>を開いて調べて下さい。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 577 560 763">           施設等の概要            (注 16)         </td> <td data-bbox="560 577 1457 763">           実験室が〇〇キャンパスのどの建物の〇〇室で行うかを<b>図</b>を添付して示して下さい。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 763 560 965">           遺伝子組換え生物等を不活化するための措置            (注 17)         </td> <td data-bbox="560 763 1457 965">           例) 使用した器具および組換え試料等は、オートクレーブ処理で不活化する。         </td> </tr> </table>	区分及び選択理由 (注 15)	<b>早見表</b> をみますと、宿主とベクターの組み合わせが <b>B1 認定宿主ベクター系</b> であり、核酸供与体がクラス1ですのでその他— <b>P1 実験</b> であることが分かります。認定宿主ベクター系かどうかの調べ方はインターネットで先ほどと同じ「生命機能研究支援センター」の <b>宿主及びベクターの組み合わせ (表)</b> を開いて調べて下さい。	施設等の概要 (注 16)	実験室が〇〇キャンパスのどの建物の〇〇室で行うかを <b>図</b> を添付して示して下さい。	遺伝子組換え生物等を不活化するための措置 (注 17)	例) 使用した器具および組換え試料等は、オートクレーブ処理で不活化する。
区分及び選択理由 (注 15)	<b>早見表</b> をみますと、宿主とベクターの組み合わせが <b>B1 認定宿主ベクター系</b> であり、核酸供与体がクラス1ですのでその他— <b>P1 実験</b> であることが分かります。認定宿主ベクター系かどうかの調べ方はインターネットで先ほどと同じ「生命機能研究支援センター」の <b>宿主及びベクターの組み合わせ (表)</b> を開いて調べて下さい。						
施設等の概要 (注 16)	実験室が〇〇キャンパスのどの建物の〇〇室で行うかを <b>図</b> を添付して示して下さい。						
遺伝子組換え生物等を不活化するための措置 (注 17)	例) 使用した器具および組換え試料等は、オートクレーブ処理で不活化する。						
その他 (注 18)							